バーチャル農業体験版「稲刈り」を親子で体験

▲三品区長より稲刈りの仕方を学ぶ

９月２３日に鳩原地区の田んぼで「バーチャル農業」の体験版として稲刈りを行いました。

これは、インターネットで加入したチャレンジ会員が、５月２０日に田植えを行い、その後の生育を１０日ごとにホームページで観察。収穫時期を迎え、４ヶ月振りに再会した農家と会員が、互いに交流を深めながら元気いっぱいに刈り取りを行いました.

当日は天候にも恵まれ、約２０㌃の田んぼを７家族２１名で刈り取り，午後からは農家を先生に籾すりや精米のしくみを学んだり，稲ワラを使ったしめ縄作りを体験しました。

▲稲刈り前に乾燥調製施設を見学

▲しめ縄作りで交流

▲子供と一緒に稲刈り

あぶくま農学校・第二期生修了

目黒区の子供たちが稲刈り体験

ＪＡ青年部が稲刈り指導

十月四日～六日までの三日間、東京都目黒区の緑ヶ丘小学校（志茂暁子校長）の五年生三十五人が角田市を訪れ「秋の農業体験学習」を行いました。

初日は、みやぎ仙南角田地区農協青年部の指導を受けながら、五月九日に田植えした北岡地区の田んぼ約十三㌃を、鎌を使った刈取りに挑戦。田植えの時に、細々としていた苗が、大きな株になっているのに驚きながら、丁寧に刈取りました。

二日目は、地元の大豆を使った豆腐作り北郷小学校（堀籠由美子校長）全生徒二百四名と新米を使った餅つきや交流会を行いました。

最終日は、渡辺博さん（藤尾）の牧場で乳しぼりを体験。しぼり立ての暖かい牛乳に、歓声を上げていました。閉会式では、あぶくま農学校遠藤副校長より、生徒全員に修了証書が手渡され、角田での農業体験を無事終了致しました。

▲第2期生（目黒区緑ヶ丘小学校5年生）と青年部の皆さん

▲手作りのポスター

▲修了証書を授与

▲豆腐作りに挑戦

▲青年部が刈取り指導